

土木技術映像の活用

(財)全国建設研修センター 正会員 ○榊山 清人

1. はじめに

土木技術映像委員会では、「土木技術者の啓発ならびに土木技術の普及を効果的に行うため、土木技術に関する映像について研究し、それを効果的に活用することにより、土木技術の継承および共有化を推進すること」(内規第1条)を目的として活動している。

その、一環として「イブニングシアター」と銘打って映画会を開催している。

映画開催の流れまた利活用については以下のとおりを想定している。

映像の収集(選定審査・コンクール応募への呼びかけ)→評価(選定審査・コンクール)→登録(DB登録)→管理(図書館映像ライブラリーへの収録と管理)→活用(イブニングシアター等上映会での土木への理解・PR活動や技術学習入門編の役割, 図書館貸出を通じた企業研修, 授業での利用)

ここでは、イブニングシアターを紹介し、利活用に当たっての課題等について述べる。

2. イブニングシアターの活動

イブニングシアターは、定例上映会として定着し 2001 年以降 9 年間で 54 回開催, その他特別上映会を 5 回, 全国大会映画会を 3 回実施している。会場は土木学会講堂のほか, 大学の階段教室, 市民ホールなどを活用して, 会員をはじめ, 一般市民の方々にも広く公開している。参加者数の推移は図-1 のグラフに見られるように, 学界講堂では 50 人~100 人, 市民ホールなどでは 200 人~300 人を集めている。

毎回アンケート調査を行い, その結果を資料集『土木学会イブニングシアターデータブック』vol.1, vol.2 としてとりまとめ, 委員会活動成果として報告している。回毎の回答数および回答率を図-2 に示すが, 回答率は平均 58%と高く, 熱心な参加者に支えられていることがわかる。

また, 特筆すべきは参加者メーリングリスト「イブニングシアターの集い(仮)」である。これは参加者のメールアドレスを登録しているもので現在 1,500 名が登録されている。イブニングシアターの開催案内をタイムリーに送付すると共に, 事前申込の登録フォームを web 上に用意・誘導して, 参加者数の事前把握に活用している。また, アンケートも同様に web からの登録フォームを用意・誘導して, 自動集計の仕組みを作成している。上映会が終わると同時に, アンケート依頼のメールが流れ, 生の声がアンケート結果として返ってきて, 大変貴重な資料となっている。

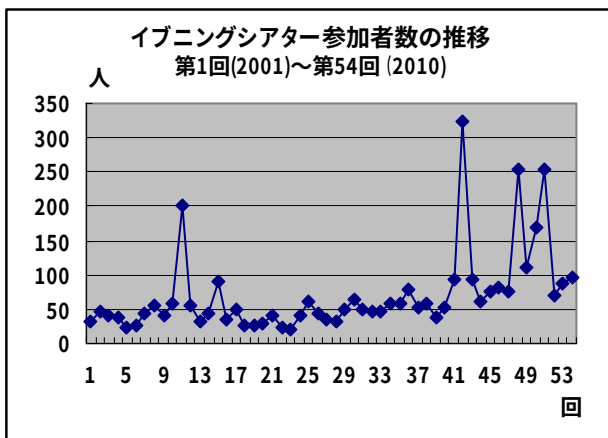


図-1 イブニングシアター参加者数の推移

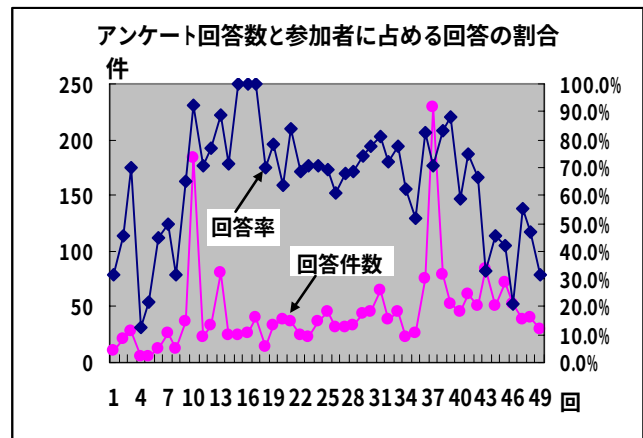


図-2 アンケート回答数と回答率

キーワード 土木技術映像, イブニングシアター, 市民上映会, 黒部の太陽

連絡先 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 (財)全国建設研修センター TEL03-3581-3408

3. 凄かった『黒部の太陽』

これまでの上映会で最も参加者が多かったのは『黒部の太陽』特別上映会（コミュニケーション委員会と共催）で、午後の部と夜の部の2部構成で、合わせて2,000人以上の方々が参加する一大ビックイベントとなった。当委員会の委員は裏方に回り、フィルムの貸出、会場の交渉、webでの予約画面の作成、維持・管理、チケット、チラシ、ポスターの作成、また当日の受付・会場整理など、身を粉にして上映に邁進したが、その甲斐あって、20代から70代まで、またご家族連れの方々など大変多くの方々に参加頂いた（写真-1, 2）。アンケート回答数も600通に及び、映画の感動や今後の土木のあり方にまで言及された、貴重な意見集となっている。先に紹介した資料集にはこれらのアンケートも収録している。



写真-1 開場を待って長蛇の列を作る参加者の方々



写真-2 ホールを埋め尽くす大観衆

『黒部の太陽』の宣伝効果は高く、その後も、記録映像『黒部ダム』（写真-3）や映画コンクール受賞作品『パッテンライ』『民衆のために生きた土木技術者たち』など技術者から一般の方々まで、様々な分野の方が参加されるイベントとして定着し、今では、予約申込をしてから数日の間に、すぐに100名を超える予約が殺到し、土木学会講堂での開催では、参加を断わらなければならないほど、盛況を呈している。

4. 今後の課題

これまでのイブニングシアターの活動などを通じて、会員や一般の方々には土木技術映像の存在が次第に知られるようになってきている。しかし、上映に耐えうる選定映像は限られているので、ある程度のサイクルで同じ映像を繰り返すことが避けられない。良質な映像の発掘が今後重要な課題になる。また、映像で切り離せない問題は著作権である。『黒部の太陽』の上映の際も、会員向けに限定とか短縮版での上映などの条件が出されるなど、石原プロモーションとの折衝に大変苦労したと聞いている。一般公開には特に制作者への承諾が必要になるため手続きが面倒な場合が多い。

学校教育に使用する場合には、すべての時間を上映するには時間を取りすぎると考えられる。例えば、液化化現象の一部分の映像が必要な場合、その部分を抽出できるような仕組み（キーワードによる検索や映像編集など）が必要となる。

今後、これらの問題点を解決して、土木技術の継承や土木教育などに役立てて行ければと思う。

第48回土木学会イブニングシアター特別上映会

「黒部の太陽」の感動から
土木技術を紐解くー実録技術映像の公開ー

上映作品（黒部ダム・黒部川第4発電所建設記録映像）

1. 「くろよん物語」（ダイジェスト版） 11分
2. 「地底の凱歌」（施設版録第2部） 53分
3. 「大いなる黒部」（施設版録第3部） 45分

主催：土木学会土木技術映像委員会
日時：2009年3月25日（水） 場所：文京シビックホール 小ホール
詳細は映像委員会HP (<http://www.kitera.ne.jp/>)をご覧ください

写真-3 第48回イブニングシアター・ポスター